

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

| | | | |
|-----|----------|------------------|------------|
| 学校名 | 横浜緑園高等学校 | 課程・学科 教育部門・学部 | 全日制・単位制普通科 |
|-----|----------|------------------|------------|

1 学校のミッション

全日制の課程単位制普通科の高校として、単位制の利点を生かした年次進行を基調とした教育課程により、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現を可能にするため、生徒の学力を育成するとともに、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的自立をめざし、カリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、個性に合った進路選択をより高いレベルで実現させることをめざした教育活動を展開してきた。今後も引き続き、単位制普通科として、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

○基礎・基本の知識・技能を定着させるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、より発展的な応用力を育む。

○組織的な授業改善により、生徒自らが課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む「学びに向かう力」を養う。

○学校生活を通し、主体性、規範意識、自己肯定感、他者を尊重する意識、協働の態度や挑戦する気持ちを涵養し、将来において社会的な自立・自己実現ができるようにする。

○総合的な探究の時間の学びや外部資源を活用しながら、自身の在り方生き方について考察し、希望する進路を実現させようと主体的に取り組む態度を養う。

○地域と連携・協働した取組により開かれた学校づくりをすすめ、地域の教育力を活用した教育活動を推進する。

3 計画策定時点での課題

○大学進学等に対応できる必要な学力の向上を目指す指導や多様な入試に対応した指導の研究が必要である。

○自ら課題を発見し、解決に向けて主体的に取り組む学習態度を育成するため、ICTを活用した組織的な授業改善が必要である。

○主体性、規範意識、自己肯定感、他者を尊重する意識、協働の態度や挑戦する気持ちを涵養するため、地域の教育力の活用方策等の研究が必要である。

○時代に見合う内容での部活動や学校行事等の活性化を図り、豊かな人間性や社会性を培う指導方法の研究が必要である。

4 4年間の目標と主な方策

| | 視点 | 4年間の目標 | 目標達成に向けた主な方策 |
|---|---------------------|--|--|
| 1 | 教育課程 学習指導 | <p>①ICTを活用した組織的授業改善に取り組み、変化の激しい社会に適応できるよう、生徒の資質・能力を高める。</p> <p>②大学進学等の多様な進路希望を実現させる学習指導を充実させる。</p> | <p>①一人一台端末などICTを活用した授業を展開するとともに、「主体的・対話的で深い学び」につながる指導方法を工夫する。</p> <p>②大学進学等の進路希望を実現させるため、夏期講座などを含め、学習指導を組織的に行う。</p> |
| 2 | (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | <p>①組織的な教育相談体制を構築し、生徒一人ひとりに応じた支援を行う。</p> <p>②規範意識を高め、校内だけでなく地域社会においても責任ある行動がとれるようにする。</p> <p>③学校行事、生徒会活動、地域行事等に対する生徒の主体的な取組を促し、自己肯定感と他者を尊重し協働する態度を養う。</p> <p>④部活動の活性化を通じて、挑戦する気持ちを高め、豊かな人間性や社会性の涵養につなげる。</p> | <p>①かながわ子どもサポートドックを推進し、外部資源を活用しつつ、生徒に有効な支援を行う。</p> <p>②-1 家庭と連携を取り、丁寧な個別指導を行うとともに、全職員で組織的な指導を行う。</p> <p>②-2 規範意識、他者を尊重する姿勢、地域からの信頼を高めようとする姿勢を涵養する指導を行う。</p> <p>③学校行事、生徒会活動、<u>地域行事</u>等における、生徒の主体的な取組を指導・支援する。</p> <p>④参加生徒の満足度を意識した、部活動活性化の取組をすすめる。</p> |
| 3 | 進路指導・支援 | <p>①生徒一人ひとりによりよい進路を実現させるため、進路に関する知見を広め、自己の将来を洞察することができるような進路指導を展開する。</p> | <p>①-1 「総合的な探究の時間」等を活用し主体的・協働的な取組を重視したキャリア教育を充実させる。</p> <p>①-2 外部資源を有効かつ計画的に活用し、進路実現に必要な力を育む。</p> <p>①-3 大学等の多様な入試に対応した組織的な指導体制を整える。</p> |
| 4 | 地域等との協働 | <p>①地域の教育力や外部の人材を活用した教育活動を推進する。</p> <p>②共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育をすすめる。</p> | <p>①-1 ボランティア活動や地域行事等への参加を通して、地域、小・中学校、行政などと連携・協働した教育活動を推進する。</p> <p>①-2 高等教育機関等の専門性を有する人材を活用した教育活動を推進する。</p> <p>②三ツ境支援学校分教室等と連携した様々な活動を進める。</p> |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <p>①学校施設の整備、美化活動の推進等を通じて、優れた教育環境と防災体制を構築する。</p> <p>②本校の教育活動を積極的に発信し、学校の魅力をPRする。</p> <p>③教職員の働き方を見直し、教職員自身のウェルビーイングを高める。</p> | <p>①計画的な施設・設備等の整備と教育の情報化に向けた環境整備を進める。</p> <p>②HPの迅速な更新や動画の活用を通し、学校の魅力を発信する。</p> <p>③時間外勤務や休日勤務の削減、休暇取得率を向上させる取組を進める。</p> |